

至徳

射水市立金山小学校

学校だより

令和2年7月6日

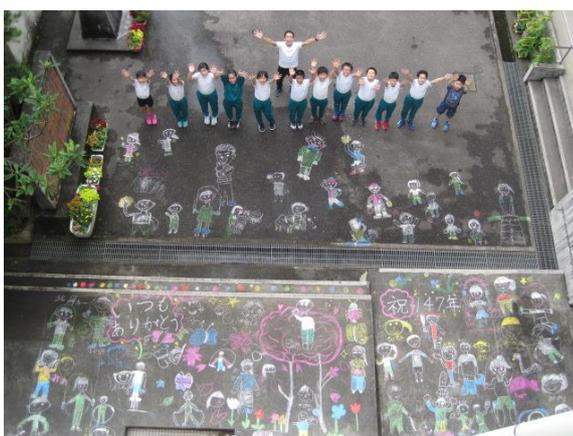
No. 11



早いもので、もう7月。学校が再開して1か月が経とうとしています。子供たちは、玄関前での健康チェックやこまめな手洗いにも慣れてきてました。県内では感染者が再び確認されましたので、引き続き感染予防に努めていきたいと思えます。また、これからどんどん暑くなってきます。熱中症のリスクを減らすため、体育の時間、その他の時間、登下校時にマスクを外す機会も増えてきています。場の状況に合わせてソーシャルディスタンスを守って、マスクを外したり付けたりすることにも慣れてほしいと思えます。

○ 金山小学校創校記念日

学校は浄土寺の禅照寺の一部を借りて、明治6年7月1日「金山小学校」としてスタートし、今年で147歳を迎えました。去年は、全校が集まり、お誕生日集会をしました。今年も全校で集まらなくてもお祝いができないかと、企画委員会が中心となって考え、児童玄関の前に全校児童で校章にデザインされている桜の木をモチーフにして一つの絵を描く「金山小学校お誕生日の絵を描こう会」の活動を行いました。作品のテーマは「桜の木と金山っ子」（桜の木の下で過ごす自分）です。このテーマに合わせ、まず桜の木を描くボランティアが募集されると、18名もの子供たちが名乗りを上げてくれました。そして朝、ボランティアの子供たちが理科室廊下前足洗い場に桜の絵、木や花虫たちを描き、その後は、学年毎に時間を区切りながら「〇〇している自分」を各自が描き加えました。次々と生き生きとして楽しそうな姿が描かれ、時間が経つにつれ、笑顔の花が咲いていくように、すてきな絵に出来上がっていききました。絵は時間差をつけて描きましたが、全校のみんなで、楽しい時間を共有できました。



6年生が仕上がった作品の前で・・・

<子供たちの感想>

- ・学校に「おめでとう」の気持ちを伝えることができたよ。
- ・一人一人みんな違って、出来上がったのを見たら心がぽかぽかしたよ。
- ・また、やってみりたいな。



○ 委員会活動が充実してきました

本年度は、特に子供たちが「自ら、考え行動する」ことを重点に取り組むことにしています。ソーシャルディスタンスの見える化を進めている委員会。正しい手洗いの定着のための動画をつくっている委員会。本に親しんでもらうために読み聞かせを計画している委員会。挨拶を盛り上げるための企画をしている委員会。給食時間を楽しくするための方法を考えている委員会。きれいな学校を目指して清掃用具の点検をしている委員会等、学校生活の充実・向上のために、そしてみんなが楽しく生活するために「どんなことができるか」「何をすればよいか」それぞれの委員会が工夫しています。



○ 第1回 学校評議委員会の開催【6月30日(火)】

学校では、毎年2回、学校評議員の皆様から学校経営や教育活動についてのご意見をいただく機会を設けています。今回は、3名の学校評議員の皆様と山屋章PTA副会長に参加いただき開催しました。保護者の皆様にも以前配布しました「学校経営行動計画 - KANAYAMA PLAN 2020-」を使いながらの学校側からの説明の後、ご意見やご助言をいただきました。いただいた貴重なご意見を学校経営に生かしていきたいと思えます。

<学校評議委員の皆様>

- ※ 中波 博英様 (金山地域振興会長)
- ※ 鈴木 敬子様 (猿楽会長)
- ※ 中波 正弘様 (金山コミュニティセンター生涯学習推進員)



○ 子供たちとの会話から

※ 廊下でバッタリ会ったときの事です。

子供：先生 どうして勉強せんなんが？

校長：うーん。どうしてだと思う？

子供：これ借りてきた。

(「なんで勉強しなきゃいけないの」の本を見せてくれました。)

校長：分かったら教えてね。

子供：いいよ。

どんな答えが返ってくるのか楽しみです。その表情から、自分で答えを見付け出した後のやる気にきっと変化があるのでは…と期待が高まります。

